

基本構想

第1章 めざすまちの姿（将来都市像）

第 1 章 めざすまちの姿（将来都市像）

序

論

基本構想

基本計画
(第1章)

基本計画
(第2章)

基本目標 1

基本目標 2

基本目標 3

基本目標 4

基本目標 5

基本目標 6

資料編

人、自然、歴史が織りなす 水ひかる 朝倉



朝倉市にとって、水は貴重な地域資源であり、市民の暮らしに多大な恩恵をもたらす存在です。また、朝倉市の山間部を源流とする水の流れは、筑後川、そして有明海へと流れ、朝倉市内だけにとどまらず、流域に豊かな恵みをもたらし、多くの人々の暮らしに潤いをもたらしています。

一方で近年の豪雨災害等、時として水は脅威となり、大きな被害をもたらすことがあります。古くから、豊かな自然とそこに暮らす人々によって育まれた豊富で良質な水を大切に活かしながら、水とともに朝倉市は発展してきた歴史があります。

その水に加え、朝倉市には恵まれた豊かな自然環境、美しい景観、地域に根付く多種多様な歴史・文化といった多彩な魅力があります。

それらの相乗作用により、一層輝くものとし、朝倉市に住む人・訪れる人が心地良さや安らぎを感じ、住み続けたい、住んでみたいと思うまちをめざします。

あわせて、朝倉市が甚大な被害を受けた平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害からの復旧・復興を経て、被災前よりもすべての世代に元気と笑顔があふれ、再び輝く朝倉市をめざすという思いも込め、**人、自然、歴史が織りなす 水ひかる 朝倉**をめざすまちの姿とします。

基本構想は、第 2 次朝倉市総合計画より引き継ぐものとします。

※織りなす：複数の細かい要素を組み合わせることによって、優れた全体像を成す様

※光る（ひか・る）：光を放つ。美しく輝く。一段とすぐれて目立つ。明るく色あざやかに輝く。